

大きな愛で人にやさしい

2026年 1月
ナンバー67号
帯広市議会議員
大林愛慶
おおほやし やすよし
後援会ニュース



大林やすよし野遊会での石川かおり衆議院議員

新しい年をむかえられ、心よりお祝いと、この一年が健康で楽しい年となりますことをご祈念申し上げます。

人口減少・物価高騰・公共交通の維持など、不安要素が私たちの生活を脅かしています。

労働者の賃金アップ、高齢者の年金アップ、子どもたちが安心して育つことができる社会が必要です。格差のない・平和を守る活動を進めていきます。

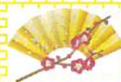
第5回帯広市議会定例会が開催され、一般会計補正予算14億6000万円、「物価高対応子育て応援手当(4億8500万円)」を可決し終了。

JP 労組十勝連協女性フォーラム総会で



2026年

おめでとう



ございます

今年も足を止めます

市内全域を

駆け廻ります



一般質問の報告の席

2025. 12. 8

立地適正化計画策定の基本的考え

人口減少・高齢化により、空き家の発生、公共交通の利用減、商店の閉店や買い物難民が発生する危惧があります。

人口減少が進んでも市民生活の質の向上、地域の利便性を確保する必要があります。

そのため「都市計画・福祉・防災・交通・施設」など総合的に、「都市機能誘導地

域・誘導施設」の設定や「居住誘導地域」の設定を進め、約20年かけて誘導していく計画となります。良好な住環境の維持保全を行い、人口密度を維持し、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう区域を設定する考えで、2年間かけて計画策定を進めます。

厚生委員会の質疑報告

「**こども未来プラン**」の改定にむけ、新年度から実施予

定ですが、改定のポイントは、「こども・若者・子育て当事者」の意見を施策に反映していくこと、「悩み・生きづらさを抱えたこども・若者の支援」「ライフデザイン形成」を強化することです。

特に「ヤングケアラーの実態把握」のため、高校生などアンケート調査の実施、また「LGBTに関する視点」も加え、相談体制や「SOS発信」の方法など、周知を強化します。

中学生・高校生の自殺が全国で529人。要因・課題を整理し取り組みの強化が重要です。

いじめ・SNS・貧困・自殺・差別の問題は、大人社会の行動が、こどもたちに「鏡」として映っているのかもしれない。社会全体で改善と支援が必要です。

「**こども誰でも通園制度**」 2026年度実施にむけ準備状況を質しました。国が進めるこの制度は、不十分な部分が多くあると考えています。

「こどもの育ちを応援する」目的ですが、こども1人、月10時間の利用は現実的でしょうか。

また低年齢児・短時間利用などは、子どもが慣れない状況も考えられ、現在の保育

士要員基準では、「保育の質」「保育の安全性」など課題があると考えます。

保育士処遇改善、制度実施に伴う国の財政支援を求めるよう提言しました。



一般質問の報告の席

2025. 12. 8

自治体職員の人材確保

質の高い行政サービスの持続的提供や、社会変化に対応できる組織づくりのためには、職員の安定的な人材確保が重要となっています。単なる人手不足ではなく、少子化による構造的な「働き手不足」=労働供給制約社会とされています。

公務員や自治体職員の採用試験の応募者の減少、若年退職者の増加など、人材確保と人材育成、職場環境等の改善を進めていかなくてはなりません。

採用に関し、「学卒者フレッシュ枠」「社会人経験枠」「公務マネジメント枠」など、柔軟な採用試験も実施しています。また帯広市独自策として「退職者復帰制度」や「定年退職者人材バンク」

職務内容を限定した「ジョブ型雇用」の拡大も進めています。私からは、「会計年度任用職員」の希望する方の「正職員化制度」の創設の検討を求めました。

JP労組十勝連協ユースネットワーク総会



18歳までの子ども

物価高対応子育て応援手当

「1人につき2万円」支給を議会で可決